

命の認識

聖書：創 2:7-9. 詩 36:7-9. ヨハネ 12:24-26.

Ⅱ コリント 4:10-12. ローマ 8:13. マタイ 7:13-14

I. 命としてのキリストは命の木の実際であり、命の木は宇宙の中心です——創 2:9. ヨ

ハネ 1:4. 10:10. 14:6. 15:1. 6:35, 63. I コリント 15:45 後半：

- A. 命は神の創造の目標です——創 1:26-28, 31. 2:7-9。
- B. 神の有機的な救い、すなわちキリストの命の中で救われることは、神の法理的な贖いの過程の目標です——ヨハネ 19:34. ローマ 5:10. コロサイ 3:3-4. 啓 22:1-2。
- C. 命とは、神ご自身がキリストの中でその霊として流れ出て、人によって享受され、人を喜ばせ満足させることです——詩 36:7-9. 啓 22:1. エレミヤ 2:13。
- D. 神はキリストの中にあり、キリストはその霊であり、その霊は命です——ヨハネ 14:9-10, 17-19. 6:63. ローマ 8:2。
- E. 命とは、わたしたちが食べる命のパンとしての主ご自身です——ヨハネ 6:35, 57, 63. マタイ 15:22-27。
- F. 命は光であり、光は暗やみに打ち勝ち、光は神の言葉の中にあります——ヨハネ 1:4-5. 詩 36:8-9. ヨハネ 6:63：
 - 1. わたしたちは命に触れたいなら、言葉、すなわち、その霊によってわたしたちと与えられた内なる感覚を必要とします。そのような感覚は神の生ける言葉です——63 節. サムエル上 3:19-21。
 - 2. わたしたちの中のその霊がわたしたちに言葉、あるいは感覚を与えて、わたしたちの口を開いて主を賛美させるなら、わたしたちはこの言葉を受け入れ、口を開いて主を賛美すべきです。こうして、わたしたちは内側に光を持ち、この光は命、その霊、キリスト、神です。
 - 3. わたしたちはこの感覚に応答して、賛美の祈りを主にささげるとき、命の満足、キリストの甘さ、神の臨在、その霊の行動を感じます。
- G. 召会のすべての美、力、明るさ、能力は、命としてのキリストが召会の内側の内容であるという事実から来ます。召会は命の結果であり、命は召会の内容です——創 2:22. ヨハネ 19:34. 12:24. I コリント 10:17。

II. わたしたちは、神の命が人の中で遭遇する障害を見る必要があります：

- A. 神の命がわたしたちの中で遭遇する第一の問題は、わたしたちが自分の人の観念の暗やみを認識していないことです：
 - 1. クリスマン生活において重要である唯一の事が、わたしたちの中の生けるキリストをどのように扱うかであることを、わたしたちは見る必要があります——ガラテヤ 1:16. 2:20. 4:19. ピリピ 1:19-21. エペソ 4:13. Ⅱ コリント 3:18。
 - 2. クリスマンであることが意味するのは、キリスト以外の何も、わたしたちの目標としないということです。多くの人々が救われた後、霊的な生活に困難を持つのは、彼らが命の道を知らず、キリストを彼らの命としないからです。
- B. 命がわたしたちの中で遭遇する第二の問題は、偽善です——マタイ 6:2, 5. 7:5.

23:13-29 :

1. 人の霊性が決定されるのは、外側の現れによってではなく、内住するキリストをどのように扱うかによります。
2. わたしたちの天然の善は虚偽の霊性であり、実は命に対する大きな妨げです。命の表現は、わたしたちの天然の性情や好みを拒絶し、ただキリストにわたしたちの中で活動して、わたしたちを砕いていただくことを含みます。
3. もしわたしたちが常に自分の性情と天然の存在にしたがって事を行なうなら、その結果は常に偽善です。

C. 命がわたしたちの中で遭遇する第三の問題は、反逆です :

1. キリストはわたしたちの中で活動し行動して、わたしたちのための彼のみことろと要求について、また彼の導きとわたしたちを対処することについて、わたしたちを明確にします。
2. しかしながら、もしわたしたちが内側の感覚に従わず、それに逆らい、彼の導きを受け入れたり代価を払ったりしないなら、この不従順なことと反対は反逆です。
3. わたしたちが最も多く、最もひどく犯す罪は、外側に見えるものではありません。そうではなく、それはわたしたちの中のキリストの感覚に従わないという罪です。キリストはわたしたちの中に生きており、絶えずわたしたちに内なる命の感覚を与えています——ローマ 8:6. I ヨハネ 2:27. 参照、エペソ 3:1. 4:1. 6:20. II コリント 2:12-14.

D. 命がわたしたちの中で遭遇する第四の問題は、わたしたちの天然の能力です :

1. 多くの兄弟姉妹は真に主を愛しており、主のために熱心であり、とても敬虔です。それにもかかわらず、彼らの最大の問題は、彼らの容量と能力が強く大きいことです。同時に、キリストには彼らの中で地位や道はありません。
2. わたしたちは有能で賜物があるかもしれませんが、これらの事柄を罪や汚れと考えていません。わたしたちは自分の天然の能力をさげすむのではなく、尊びます。もしそれらがわたしたちの中で砕かれぬままであるなら、キリストの命にとって問題になるでしょう。

E. わたしたちの中のこれらすべての障害に対して、一つの解決があります。すなわち、わたしたちは十字架を経過し、十字架にわたしたちを砕かせなければなりません。わたしたちは、キリストの命がわたしたちの中で妨げられないことを願うなら、十字架の砕きを経験し、これらの障害が対処され、取り除かれるようにしなければなりません——マタイ 16:24-25。

III. わたしたちは、神の命がわたしたちの中で遭遇する主観的な障害を見る必要があります :

- A. 正常なクリスチャンは、彼の思い、意志、感情が彼の霊と協力する人です。不正常的なクリスチャンは、彼の思い、意志、感情が彼の霊と協力することができず、相反しさえする人です。ですから、彼はおおいの下で生活しています。
- B. 第一の主観的な問題は、わたしたちの思いの問題です :
 1. もしわたしたちが行ないたい事が自分の考えから出ているなら、たとえ成功しても、これらの事は宗教の活動にすぎません。それは、わたしたちの霊から生かし

出されたキリストの証しではありません——参照、ピリピ 2:5. I コリント 2:16. エペソ 4:23. ローマ 12:2。

2. わたしたちはキリストの命を内側に持っていますが、わたしたちの思想と行動がキリストの命と協力しないなら、この命はわたしたちから生かし出されることはできません。
3. わたしたちの思いが霊に付けられるとき、わたしたちの外側の行動はわたしたちの内なる人と一致し、わたしたちと神との間に何の食い違いもありません。神とわたしたちは平和であって、敵対しません。その結果、わたしたちは内側で平安に感じます—— 8:6。

C. 第二の主観的な問題は、わたしたちの意志の問題です：

1. たとえ多くの時、わたしたちの思いが霊の中の意図を理解し、わたしたちが神のみこころを知っても、わたしたちの意志は服従し従おうとしません。
2. わたしたちは、主がわたしたちにある事を行なってもらいたいことを理解し、知り、了解し、深く感じるかもしれませんが、わたしたちの意志は服従し降伏することを拒み、そしてわたしたちは主の臨在を失います。
3. 主のみこころを実行することで、強い意志も弱い意志も、神の命にとって妨げです。対処されている意志は、主によって服従させられ復活させられることによって、強くて柔軟です。神と協力することができる意志を持つことは、大きな事柄です——ピリピ 2:13。

D. 第三の主観的な問題は、わたしたちの感情の問題です：

1. わたしたちの感情は神の感情を持つ必要があり、わたしたちは完全に神の感情の中へと入る必要があります——II テサロニケ 3:5. ピリピ 1:8。
2. わたしたちは、何であれ神が愛するものを愛し、何であれ神が好むものを好み、何であれ神が憎むものを憎むべきです。わたしたちの感情と神の感情は、一つの感情となるべきです——エペソ 5:25. II コリント 12:15. I コリント 16:24. 啓 2:6。

E. このことすべてからわたしたちは、わたしたちのパーソンが、神の命を生かし出すことの真の障害であるのを見ることができます。こういうわけでわたしたちは砕かれる必要があり、また日ごとに内なる人の中へと増強されて、キリストがわたしたちの心の中にご自身のホームを造ることができるようにする必要があります。心の主要な部分は思い、意志、感情です——エペソ 3:16-17。

IV. わたしたちは命の道を見る必要があります——マタイ 7:13-14：

- A. 神の救いにおいて、彼の働きの一部は、わたしたちの中の彼の命のために明確な道を敷くことです。この働きは、十字架の死を通して達成されます——ピリピ 3:10。
- B. 一粒の麦の中に命がありますが、麦が地に落ちて死ななければ、麦の内側の命は解き放たれません——ヨハネ 12:24-26。
- C. 命の道は死の道です。キリストの死がわたしたちの中で活動するとき、キリストの命がわたしたちから出て来る道があります——II コリント 4:10. ピリピ 3:10. ガラテヤ 2:20。
- D. わたしたちはその霊を通してキリストの十字架を経験します—— 5:16, 24. ローマ 8:13-14. 出 30:23-25. ピリピ 1:19。

E. わたしたちの中の聖霊の働きが強ければ強いほど、十字架に対するわたしたちの経験はますます強くなります。聖霊が働くところではどこでも、その霊によって死に渡すことがあり、復活の命はわたしたちの中で、わたしたちを通して現されることが出来ます——Ⅱコリント 4:11-12。

F. 聖霊の取り扱いも、わたしたちの中で十字架の働きを遂行します：

1. わたしたちの霊的な理解のために、聖霊を知るだけでは十分ではありません。わたしたちはまた、わたしたちの環境における「すべて」を知らなければなりません（ローマ 8:28）。霊的で神の御前に生きるクリスチャンは、毎日、三つのもを「読む」必要があります。第一に、聖書を読む必要があります。第二に、霊の内なる感覚を読む必要があります。第三に、自分の環境と境遇、すなわち自分の周りの人、事、物を読む必要があります。神はわたしたちの環境と境遇を案配して、すべての人、事、物が働いて益となるようにします。すなわち、わたしたちを造り変え、神の長子のかたちに同形化します—— 28-29 節。

2. 主がわたしたちのために創造した環境は、わたしたちに主の恵みを知らせ、主の力を経験させます——Ⅱコリント 12:9。

V. わたしたちは、どのようにして神の命がわたしたちから生かし出されることが出来るかのビジョンを見る必要があります：

A. わたしたちは、神の命がわたしたちの中にあることを認識し、知る必要があります——コロサイ 3:4. ローマ 8:10。

B. わたしたちは、神がわたしたちの目を開いて、わたしたちの天然の人、すなわちわたしたちのパーソンそのものが、神の命にとって妨げであることを、見せてくださることを必要とします。

C. わたしたちは、自分が十字架につけられていること、自己を憎まなければならないことを見る必要があります。わたしたちは神を見て、神を知り、神を愛すれば愛するほど、ますます自分自身を嫌悪し、ますます自分自身を否みます——コロサイ 3:3. ガラテヤ 2:20. ローマ 6:6. ヨブ 42:5-6. マタイ 16:24. ルカ 9:23. 14:26。

VI. 「今日、あらゆる召会が最も必要としているのは、命のものです。わたしたちのすべての働きと活動は命から出て来なければなりません。……もしそれが命から出て来るのでないなら、わたしたちの働きや奉仕は長続きせず、またあまり重みがありません。わたしたちの働きが満ちあふれ、長続きする実としたいなら、命の中の土台がなければなりません。……わたしたちの働きは、ただ主の命を解き放ち、主の命を人に分け与え、供給することであるべきです。主がわたしたちをあわれんでわたしたちの目を開き、この時代における神の中心的な働きが、人に神の命を得させ、また神の命の中で円熟させることであることを、見せてくださいますように。ただ神の命から出て来る働きだけが、神の永遠の標準に達し、神に受け入れられることができます」——命の認識、第 6 編。